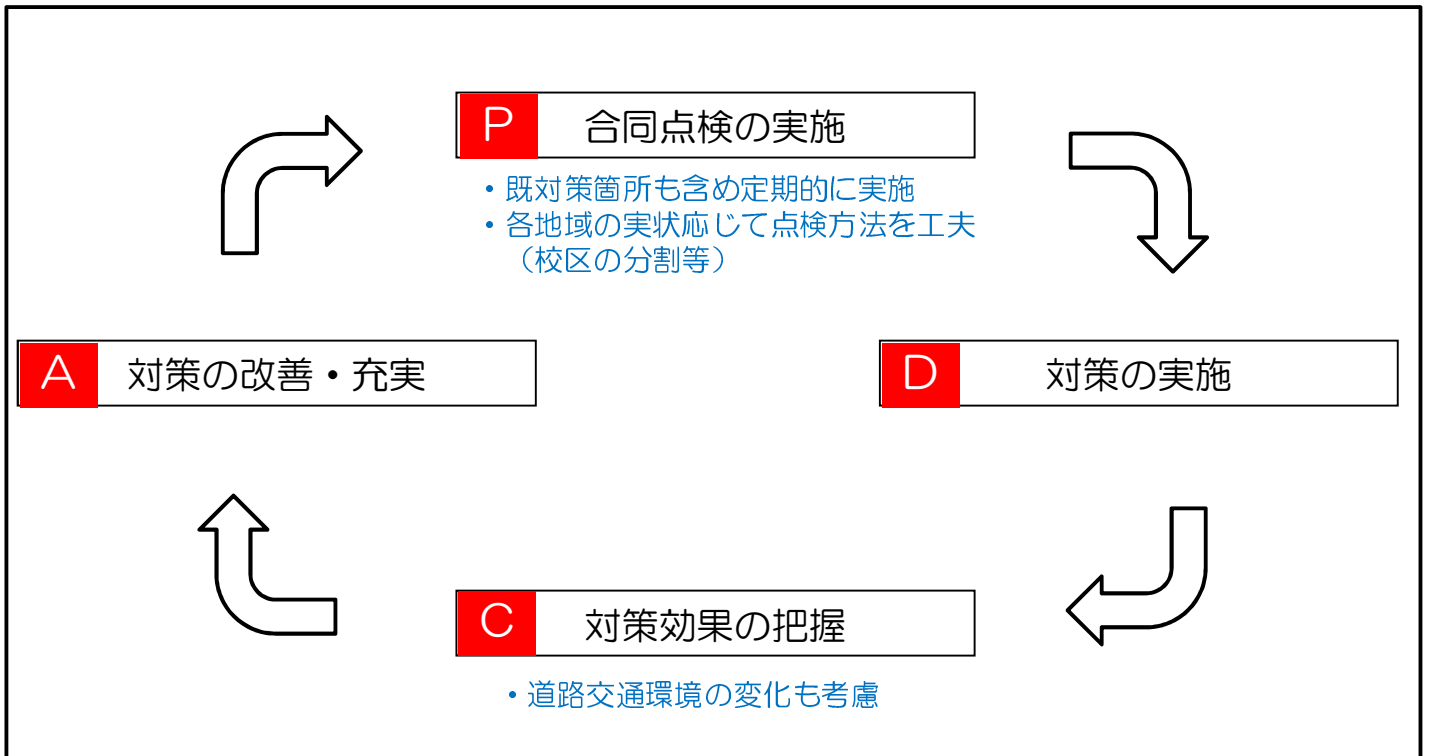


4. 今後の取組方針

(1) 定期的な合同点検・継続的なPDCAサイクルの実施



PDCAサイクルの実施フロー

① 定期的な合同点検の実施

- ・ 合同点検の実施時期は、各市町村が個別に「通学路交通安全プログラム」に設定
- ・ 域内の小学校をグループ分けするなど、それぞれの実情に応じた形で点検方法を工夫

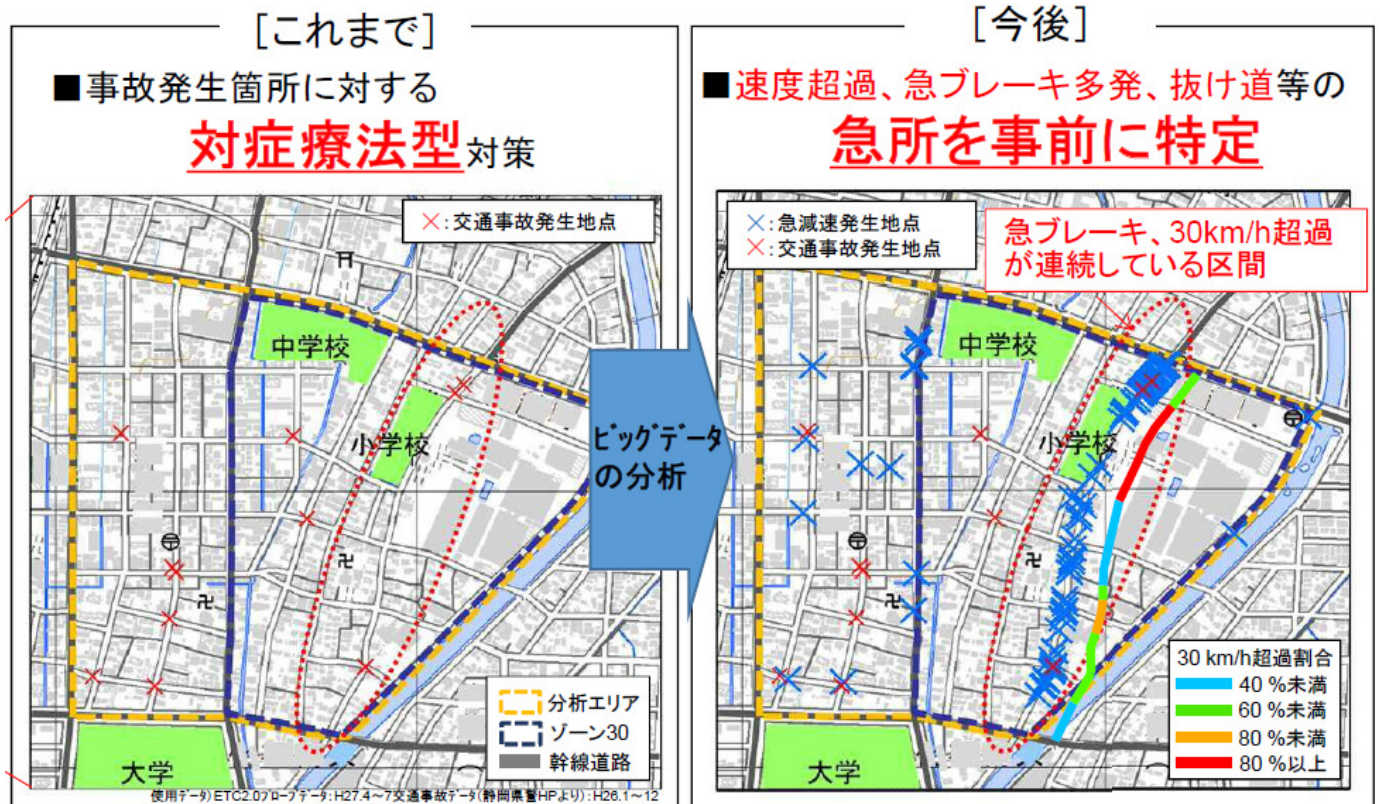
② 継続的なPDCAサイクルの実施

- ・ 通学路は、経路の変更や道路交通環境の変化もあり得ることから継続的な効果検証が必要
- ・ 既に対策を終えた箇所についても、対策効果を検証するため、継続的なPDCAサイクルの実施が重要

安全な通学路を確保するためには、合同点検を定期的実施し、PDCAサイクルを継続的に実施していくことが重要。

(2) ビッグデータを活用した生活道路対策

「通学路交通安全プログラム」に、速度抑制・通過交通の進入抑制を図るといった歩行者中心の生活道路安全対策の考え方を導入



国土交通省奈良国道事務所「生活道路の安全対策」の取り組みについて 参照

- ビッグデータの分析結果を活用することにより、車両の急減速や速度超過が多発している箇所を特定
- ヒヤリマップなどの生活感覚に基づく情報と重ね合わせることで、通学路上の危険箇所を効率的に把握
- 危険箇所と現況を把握することにより、効果的な通学路対策が可能（例：物理的デバイス（ハンプ、狭さく等））



通学路対策におけるビッグデータの活用を推進